

<参考資料Ⅱ>

研究開発に係る評価の観点の例

○ 研究開発制度及び研究開発課題に係る評価の観点の例（※1）

必要性	一次的な観点として		
	目的の妥当性・戦略性（※2）	科学的・技術的知見の向上	独創性、革新性（ブレイクスルー）、先導性、国際的水準で見た新規性、他の研究への波及効果 等
		産業・経済活動の活性化	将来的な実用化・商品化の基礎、標準化、相互接続性、互換性、起業促進、経済波及効果、雇用創出、大容量高速化、テストベッド（実証実験） 等
		安全性・安心・信頼性の向上	セキュリティ技術、著作権保護技術、バックアップ技術、リダンダンシー（冗長性）、環境負荷低減、防災、人体への影響 等
		利便性・福祉の向上	アクセシビリティ、デジタルデバイド解消、バリアフリー（高齢者・障害者対策）、医療への応用 等
		教育・人材育成	情報リテラシー、文化振興、遠隔教育、研究人材の育成 等
		国際貢献	国際標準、国際共同観測、国際共同開発、国際技術協力 等
	二次的な観点として		
	優先性（※3）	緊急性	当該研究開発制度や当該研究開発課題を立ち上げる緊急性は妥当か
	国が関与する妥当性	民間実施困難	民間で実施できない性質の課題か、またそういう課題を支援するための制度か
国家の戦略		国として戦略的に実施すべきか 上位計画との整合性	
有効性	想定される（又は、獲得された）効果	科学的・技術的知見の向上	独創性、革新性（ブレイクスルー）、先導性、国際的水準で見た新規性、他の研究への波及効果 等
		産業・経済活動の活性化	将来的な実用化・商品化の基礎、標準化、相互接続性、互換性、起業促進、経済波及効果、雇用創出、大容量高速化、テストベッド（実証実験） 等
		安全性・安心・信頼性の向上	セキュリティ技術、著作権保護技術、バックアップ技術、リダンダンシー（冗長性）、環境負荷低減、防災、人体への影響 等
		利便性・福祉の向上	アクセシビリティ、デジタルデバイド解消、バリアフリー（高齢者・障害者対策）、医療への応用 等
		教育・人材育成	情報リテラシー、文化振興、遠隔教育、研究人材の育成 等
		国際貢献	国際標準、国際共同観測、国際共同開発、国際技術協力 等
効率性	達成目標・実施計画の妥当性	研究開発の達成目標・実施計画が具体的かつ明確に設定されているか	
		達成目標の実現性	
		研究開発の達成目標・実施計画は技術動向等の変化に対応したものか（成果が陳腐化しないか）	
		目標達成度の測定指標の妥当性	
		実用化等、成果の活用・展開に向けた計画	
		類似の研究開発課題、制度と重複はないか	
		（継続・事後評価について）目標は達成されたか、あるいは進捗状況は順調か	
	研究実施体制の妥当性	十分な研究設備、研究者の確保、研究管理能力等	
		情報収集能力、情報発信能力	
		（特に複数の研究開発機関による共同研究の場合、）分担内容の適切さ、連携体制の効率性	
		情報技術の活用等による合理化に向けた取り組み	
		研究者のエフォート	
	予算計画の妥当性	研究開発機関の経営基盤の安定性（経済的安定性はあるか）	
予算額の妥当性（適宜、費用対効果を検討する）			
		（継続・事後評価について）予算の執行状況（当該研究開発を円滑に進めるために適時・適切に執行されていたか）	

- （※1）：研究開発制度の評価では、有効性、効率性の観点については、当該制度による研究開発課題の評価結果を基に、これらの総体として見る。
- （※2）：これら国として実施すべき政策目的のうち、どのようなものを研究内容に包含しているかを明確化することが重要であり、合致する政策目的が多ければいいという性格のものではないことに留意すること
- （※3）：研究開発を実施する資源は有限であり、複数の課題がある中から、より優先的に実施する必要がある際に、研究開発の性格を考慮しつつ、参考にするべき観点。

○ 機関評価の観点の例

目標	年次計画	評価結果が反映されているか
		機関のミッションに照らして計画は妥当か
組織	運営体制	運営管理体制は妥当か
		組織や研究員構成が適切か
		組織編成は機動的に行なわれているか
		意見決定体制は有効に機能しているか
	研究体制	研究グループ間は競争的な関係にあるか
		研究グループ間の協力・連携はうまくいっているか
業務	研究開発課題の成果	(課題評価で実施)
外部との関わり	支援体制	研究開発支援業務は充実しているか
		特許取得・移転システムは整備されているか
	外部委託	アウトソーシングを活用できているか
	産学官連携	外部機関との連携等は適切に実施されているか
	広報活動	研究成果等の広報活動を積極的に行っているか
		学会活動に関与しているか
社会貢献・交流活動	政策提言を行っているか	
	外部の研究員・研究機関との研究協力・交流は積極的に行なわれているか	
	研究員の機関外活動(シンポジウム開催・講演等)は充実しているか	
施設	研究施設	研究設備は適切な水準が確保されているか
		研究スペースは適切な水準が確保されているか
	施設・設備改善点等	データベース、情報システム等は整備されているか
		研究環境改善・整備の努力を行っているか
人材	人材の配置	人材の配分は適切に行なわれているか
		マネジメント人材の確保は適切に行なわれているか
	採用活動	ポスドク、フェロー等の優秀な人材を確保する方策が採られているか
		研究員の意欲増進のための努力が行なわれているか
	研究者の業績	(研究者の業績評価で実施)
人材育成	研修制度は確立されているか	
人材の流動性の促進	任期付採用、外部人材の登用等、人材の流動化に資する方策を採っているか	
会計	資金運用の透明性	効率的・適切な予算の使用が行なわれているか
		契約等の手続は効率的に実施されているか
		競争的資金のオーバーヘッド部分の活用は適切になされているか
	資金確保	外部資金は確保されているか
評価	評価体制	内部評価体制は妥当か
		外部評価体制は妥当か
	評価の反映	研究員の業績評価と処遇への反映は妥当か
		過去の評価結果が反映されてきたか

※ この中から適宜必要な項目を選択する。